

〇平和への思い

～2年生(60期生)修学旅行 その2～



村岡を定刻出発、雪の影響もなく新神戸駅に到着。さくら551号で博多へ、そしてバスに乗り換え、1日目のメインである長崎平和公園へ向かいました。昭和20年8月9日に投下された原子爆弾で、7万3千人以上の人が亡くなり、7万5千人以上の方が放射能による後遺症で苦しまれてきた現状をガイドさんの説明や資料館の展示で認識することができました。



私は、過去に広島原爆資料

館に行ったことがあります。今回この場所を見させていただき、あらためて原爆の恐ろしさ、悲惨さ、そして平和の大切さを感じずにはいられませんでした。生徒にも心の中にしっかり刻んでほしいと思いました。その後、稲佐山にある宿舎に到着、世界三大夜景ひとつであるの長崎市の夜景を堪能しました。



16日は、軍艦島(端島)へのクルーズ。強い冬型の気圧配置で風も強く、船も大きく揺れました。(トイレが大変でした)無事上陸後は、ツアーガイドの説明を聞きながら見学しました。この島は、石炭の採掘のためにできた町ですが、全盛期には当時の東京を超える人口密度、日本で初めての鉄筋コンクリート製の10階建ての住宅(エレベータはない)、600mを超える立坑からさらに奥深くに伸びた採掘場において1日3交代で働く人々、など説明される内容は驚くものばかりでした。この島は、台風の影響も受けやすく(右端写真の建物を超える波が見られたとか)、大正時代に造られた建物は、崩壊が進んでおり、見学できる場所も限られています。次回来た時に同じ景色が見られるかどうかはわかりません。今年はコロナの影響でこのツアーも実施が制限されていただけに、今回の見学はとても幸運でした。

その後の昼食の様子です。感染予防対策で生徒はみんな同じ方向を向いて食事をとっています。→

